

# ライディングスポーツカップ

## バトラックス・KKWバイクレースシリーズ2017

### 特別規則書

#### 第1部 総則

##### [1] 大会名称・種目

ライディングスポーツカップ バトラックス・KKWバイクレースシリーズ2017

(略称：北九州ライスポカップ)

種目：スプリントレース

##### [2] 開催クラス・参加申込料

<ミニバイクの部> 7,400円(保険料含)

2スト50cc未満(スクーター系は60cc未満)もしくは

4スト(空冷に限る)100~115cc未満(スクーター系は125cc未満)

の『ミニバイク』

非レーサーモデル含む。

・フレッシュマンクラス

・HRCトロフィークラス

・GROMクラス(新旧年式GROM混走)

※『GROMカップ』出場ポイント対象車両は、「2017 HRC GROM CUP 車両規則」に準じた仕様のものに限る

・エキスパートクラス※年間シリーズ表彰対象クラス

<ポケバイ・キッズバイクの部> 5,300円(保険料含)

・74Daijro チャレンジクラス

・74Daijro クラス※年間シリーズ表彰対象クラス

##### [3] 大会日程※暫定

全5戦にて行う。

開幕戦 4月 9日

第2戦 5月28日

第3戦 7月30日

第4戦 8月27日

最終戦 10月 8日

※ 開幕戦は74Daijro サウスシリーズとのダブルタイトル戦

##### [4] レース・シリーズの成立

年間シリーズ表彰対象クラスは、3レース以上のレース成立をもってシリーズの成立とする。また、3台の参加申し込みをもってレースの成立とする。

全5戦の累積ポイントを基に年間シリーズランキングを決定し、ランキング上位者を表彰する。

HRCトロフィークラスの『グランドチャンピオンシップ』及び『ジュニアチャンピオンシップ』、GROMクラスの『GROMカップ』ランキングについては、各クラス着順に応じて計算する。ポイント計算方法は、本特別規則と同様とする。

## [5] 出場資格

レースに出場するに当り、必要最低限の知識・技術を有していること。ミニバイクについては、MF Jライダーライセンスもしくは原付以上の二輪運転免許を所持していることが望ましい。

ミニバイクの部は、エンジン始動や転倒時の起こし・危険回避等の処理が自力で出来る者に限る。フレッシュマンクラス・エキスパートクラスの出場クラス選択は、自己申告を原則とするが、昇格基準タイム（概ね3.2秒00、ドライ路面）を越える者については、主催者よりエキスパートクラスへの出場を推奨・勧告する場合がある。

## [6] 参加申込

大会への参加申込は、開催日5日前の17時をもって締め切りとする。

また参加申込料の支払い義務は、参加申し込みが受理された時点で発生する。

1大会に2クラス以上参加する者については、2クラス目以降は1,000円割り引きとする。

申し込み方法については、別途定める。

## [7] 自己責任

競技中コース上で発生した事故によるマシンの破損・負傷・死亡等の損害は、各ライダーの責任とし、主催者・競技役員・他のライダー等に対して何らの責任追及並びに損害賠償の請求は出来ない。

## [8] 車両及び車輪付き遊具の乗車・使用

大会中はピット・パドック裏・駐車場など人が自由に行き来できる場所において、バイク・スケートボード・自転車等、車両及び車輪付き遊具の乗車・使用を禁止する。

但し、主催者が指定する時間帯・場所においてはその限りではない。

## [9] 動画・画像撮影装置

車両・装備に動画・画像を撮影する為の装置（カメラ等）を搭載してはならない。

## [10] 送受信・交信装置

走行中のデータ（ラップタイム・回転数等）を外部に発信する装置、外部と交信する装置（トランシーバー等）を車両・装備いかなる箇所にも搭載してはならない。

但し、ラップタイム計測を目的として磁気・電磁気・赤外線・GPS等を受信する装置を車両に搭載する事についてはこの限りではない。

## 第2部 車両規則

### [11] ライダーの装備

- ①レーシングスーツ（革ツナギ）・フルフェイスヘルメット・ライディンググローブの着用を必須とする。ミニバイクはこれに加えライディングブーツも必須とする。乗車時に肌の一部が露出しないようにしなくてはならない。
- ②ヘルメットリムーバー、チェストプロテクター、脊髄パッドの着用を必須とする。
- ③バンクセンサーなど走行中に直接路面に接触しうる装備について、金属製及び破損時に飛び散る可能性のある材質の使用を禁止する。
- ④競技長は、安全上好ましくないと判断した装備について、その改善をライダーに指示し、当該ライダーはこれに従わなくてはならない。

### [12] 車両

- ①ミニバイクの車両仕様は、別途定める。但し『NSF100グランドチャンピオンシップ』及び『NSF100ジュニアチャンピオンシップ』、『GROMカップ』の車両（2016年式以降）は、HRCの規定に基づくものとする。
- ②ポケバイ・キッズバイク車両は、日本国内仕様のものに限る。改造・変更範囲は車両によって、ライフイーグルは『ライフポケバイ選手権GP2クラス』、74Daijroは『ダイジローカップ』、各種キッズバイクは『キッズバイク（10インチ）』の各規定に準ずる。

### [13] ゼッケン

- 車両正面（もしくは左斜め前）にゼッケンを表示するスペースを確保しなくてはならない。
- また、ベース・番号が同一系統の色、著しく崩した字体等、競技長が判別困難と判断した車両については、改善を指示する場合がある。

### [14] タイヤ

- タイヤソフナー等人為的にタイヤの品質を変化させる薬剤等の使用を禁止する。ミニバイクについては、タイヤウォーマーの使用を認めるが、その電源は各自において用意する。ポケバイ・キッズについてはタイヤウォーマーの使用を禁止する。

### [15] 車両検査

- レース開催中もしくは前後に関わらず、必要に応じて車両規定に適った仕様であるかの検査を行う場合がある。
- 原則として年間シリーズ表彰対象クラスは決勝終了後、競技長より指定された場所に全台車両を保管する。保管に従わない車両については『失格（当該ヒート）』とする。
- 詳細は公式通知にて発表するが、予告なく内容を変更・追加する場合もある。
- 検査に当り、大会・競技関係者以外の第三者を特別検査員に任命する場合がある。主催者は、公平・中立を保てる事を念頭に置き、その選定には慎重を期せねばならない。

### [16] 重量検査

- 各車両規定及び公式通知に基づき重量検査を要するライダーは、予選及び決勝終了後は車両検査場にて重量検査を受けねばならない。
- 検査前に検査場を離れたり検査を受けなかった場合には『失格（当該ヒート）』となる。

## 第3部 競技規則

### [17] 参加者多数の場合の取り扱い

参加者多数（概ね11台以上）のクラスについては、クラス分け・グループ分けを行う等、必要に応じて変則的な形式を採る場合がある。

その場合の手順・方法は、各大会の公式プログラムにおいて発表する。

### [18] フルグリッド

全てのレースヒート（予選ヒート・決勝ヒート）について、1ヒート当りの最大出走台数（フルグリッド）は15台を超えない事とする。

### [19] ウェイテリンググリッド

各ヒート前のマシン・ライダーの待機場所は、第一コーナー横とする。但し、主催者が必要と認めた場合、待機場所を変更する場合がある。その旨は大会当日の公式通知にて発表される。

### [20] スタート合図

- ① 予選・決勝のスタート合図はフラッグにて行う。
- ② スタート合図前に走り出した（フライングした）ライダーに対しては、当該ヒート終了後に1周減算ペナルティを科する。

### [21] ヒートの成立

予選・決勝ヒートの成立は、既定周回数の60パーセント以上を消化した時に成立する。

成立後の中断はその合図（赤旗提示）時点の着順をもって最終結果とする。また、成立前の中断については、合図時点の着順で再スタートする。その場合の周回数は、既定周回数より消化した周回数を引いたものとする。

### [22] ショートカット

ショートカットエリアの使用及び『近道』とみなされる行為については、以下のとおり当該ライダーに対しペナルティを課す。

- ① タイムトライアル：持ちタイムに1秒加算
- ② 予選・決勝：当該ヒート1周減算

### [23] 追い越し禁止違反

最初に黄旗が提示された地点より当該障害物までの区間での追い越しについては、以下のとおり当該ライダーに対しペナルティを課す。

- ① タイムトライアル：持ちタイムに1秒加算
- ② 予選・決勝：当該ヒート1周減算

### [24] 工具の持ち込み

ライダー・関係者を問わず工具類のコース内への持ち込みは一切禁止する。

### [25] ピット・コース等への立ち入り

レース中のピット・コース立ち入り規制は、各大会公式通知等にて別途定める。

### [26] 整備不良

コース走行をする上で安全上不適切と判断されるマシン・装備について、競技長はオレンジ色のディスクを付した黒旗の提示をもって当該ライダーに対してピットインを指示する。当該ライダーは、不良箇所の修理・改善を行えば、コースに復帰出来る。

## [27] スポーツマン精神に反する行為

過度のブロッキング・プッシング・フラッグサイン無視、競技役員の指示に従わない等、スポーツマン精神に反する行為及び禁止事項の違反について、主催者または競技長はその程度に応じて以下のとおり当該ライダーに対してペナルティを課す。また、ヒート中必要があれば当該ライダーに対し黒旗の提示をもってピットインを命ずる。

- ① 失格（レースそのものより除外）
- ② 失格（当該ヒートのみ）
- ③ 1周減算（予選・決勝ヒート）
- ④ スターティンググリッド降格（予選・決勝ヒート）
- ⑤ 警告
- ⑥ 厳重注意

レース中に限らず、パドック内における喫煙など、社会常識上不適切な行為に対しても必要に応じてペナルティを課す場合がある。また、違反行為がピットクルーによるものである場合、そのペナルティの効力は所属するライダーに及ぶ。

## 第4部 表彰規定

### [28] 各クラスの表彰

各クラス上位入賞者（概ね3位まで）に対して正賞（トロフィー）を贈呈する。

### [29] シリーズポイントランキング

年間シリーズ表彰対象クラスは、出場台数・着順に応じて以下のとおりランキングポイントを与える

	15台～	10～14台	1～9台
1位	12	10	8
2位	10	8	6
3位	8	6	5
4位	6	5	4
5位	5	4	1
6位	4	3	1
7位	3	1	1
8位	2	1	1
9位	1	1	1
10位～	1	1	

ポイントは、本決勝に出走した者のうち、優勝者の消化周回数の50パーセント以上を消化した者に与えられる。（赤旗中断については、再開後の周回数を基準とする）

### [30] 年間表彰

年間シリーズ表彰対象クラスのうち、シリーズの成立したクラスについて、ランキング上位3名程度に対して正賞・副賞を贈呈する。ランキングの順位は、以下の要領で決定する。

- ① 獲得ポイントの多い者
- ② ①で同点の場合、上位入賞回数の多い者
- ③ ②でも決さぬ場合、先にポイントを獲得した者

### [31] 最終戦のポイントの取り扱い

最終戦に与えられるポイントは、通常の1.5倍（150%）とする。